

2023年度第3回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 筑紫特別

筑紫（ちくし）は、九州の古称。「つくし」ともいう。筑前国、筑後国を中心とする北九州を指す場合や、九州全体を指す場合などがある。

○ 西部日刊スポーツ杯

日刊スポーツは、日刊スポーツ新聞社より発行されているスポーツ紙。九州地方では、福岡市に所在する日刊スポーツ新聞西日本西部本社が、同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 阿蘇ステークス

阿蘇（あそ）は、熊本県北東部、阿蘇地域の中央部に位置する市。同地域にある阿蘇山は、世界最大級の複式活火山。中央には高岳をはじめとする阿蘇五岳がそびえ、世界でも有数な規模のカルデラを形成している。温泉やキャンプ場などが多数存在し、観光地として人気がある。

<第2日>

○ フェニックス賞

フェニックス（Phoenix）は、ヤシ科の植物。アフリカのカナリー島が原産で、カナリーヤシとも呼ばれる。南九州地区に多く見られ、宮崎県の「県の木」にもなっている。また、エジプト神話の不死鳥のこと。アラビアの砂漠に住み、500年に一度、自ら火中に入って焼かれ、その灰の中から幼鳥の姿となって再生するなどの言い伝えがある。

○ RKB賞

RKBは、福岡市に本社を置くRKB毎日放送の略称。1951年開局で、JNN（TBS）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 博多ステークス

博多（はかた）は、福岡県福岡市の区。また、福岡市街地の別称。古来、博多は太宰府の外港として、大陸文化輸入の玄関口として栄えた。毎年5月に開催される「博多どんたく」や7月に開催される「博多祇園山笠」などの祭りが有名。

なお、同区にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるエクセル博多がある。

○ サマー2000シリーズ農林水産省賞典小倉記念（GⅢ）

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第3戦。

同競走は、1965年に創設された重賞競走。当初は2,000mのハンデキャップ戦であったが、1995年に別定重量戦へ変更された。2000年から再びハンデキャップ戦となり、現在に至る。

<第3日>

○ 雲仙特別

雲仙（うんぜん）は、長崎県島原半島西部の市。2005年に周辺7町が対等合併し、雲仙市となった。また、同半島の中央部にある火山群の総称であり、特別名勝に指定されている。雲仙天草国立公園は、火山景観を主体とした雲仙地域と、大小120余の島々の海洋景観を主体とした天草地域からなる。

○ 不知火特別

不知火（しらぬい）は、夜間の海上に多くの光が点在し、揺らめいて見える現象。蜃気楼の一種。干潟の冷えた水面と大気との間にできる温度差によって、漁火が無数の影像をつくる異常屈折現象とする説が有力。八代海や有明海は、不知火の名所として知られる。

○ 佐世保ステークス

佐世保（させぼ）は、長崎県北部、北松浦半島南岸の市。オランダの街並みを再現したテーマパーク「ハウステンボス」が有名で、年間を通して多くの観光客で賑わっている。

なお、同テーマパーク内にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ佐世保がある。

<第4日>

○ 西部スポニチ賞

スポニチは、スポーツニッポン新聞社より発行されているスポーツ紙スポーツニッポンの略称。九州地方では、福岡市に所在するスポーツニッポン西部総局が同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 薩摩ステークス

薩摩（さつま）は、西海道に位置する旧国名。現在の鹿児島県の西半分にあたる。鎌倉時代以降は島津氏の統治下にあった。三方を海に囲まれた環境であることから古来より貿易が盛んで、海外文物の流入地ともなっていた。

○ サマースプリントシリーズテレビ西日本賞北九州記念（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第4戦。

本競走は、1966年に創設された重賞競走。当初は2,000mのハンデキャップ戦であったが、1969年に距離短縮されて1,800mとなり、1972年に別定重量戦へ変更された。2006年から1,200mのハンデキャップ戦となり、現在に至る。

テレビ西日本は、福岡市に本社を置く放送局。1958年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ 小倉サマージャンプ（J・GⅢ）

本競走は、1999年に創設された障害重賞競走。正面中央の竹柵障害は、120cm・130cm・140cmの3段階に高さが可変する上下動式障害で、本競走は高さ140cmを使用して行われる。また、最終の障害を芝コースに設置することで、迫力ある飛越を間近で観戦することができる競走となっている。

○ ひまわり賞

ひまわり（向日葵）は、北アメリカ原産のキク科の一年草。夏には、周囲が鮮黄色、中央が褐色の大きな頭状花を横向きに咲かせる。花言葉は「あこがれ」「熱愛」。

○ 西海賞

西海（さいかい）は、西方の海、特に瀬戸内海または九州の海を指す呼称。また、長崎県中部、西彼杵半島北部にある市。同市では崎戸春エビやゆでぼし大根が名産。同市と佐世保市を結ぶ西海橋は、1955年に日本初の有料道路橋として開通し、1970年に無料化されて以降、現在も幹線道路として利用されている。

○ 釜山ステーキス

釜山（ぷさん）は、大韓民国南東部に位置する広域市。国内第二の都市として政治・経済・文化面で重要な役割を担っている。日本との関係も深く、小倉競馬場と釜山競馬場は2009年から姉妹競馬場として提携している。

<第6日>

○ 英彦山特別

英彦山（ひこさん）は、福岡県と大分県の県境にある奇石、奇峰に富む火山群の主峰。標高1,199m。北岳・中岳・南岳の三峰からなり、中岳に英彦山神宮がある。山中には、国の重要文化財に指定されている奉幣殿（ほうへいでん）や銅鳥居（かねのとりい）、国の天然記念物に指定されている鬼杉がある。

○ 九州スポーツ杯

九州スポーツは、東京スポーツ新聞社より九州地区を中心に発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 小倉日経オープン

日経は、東京と大阪に本社を置く日本経済新聞社が発行する日本経済新聞の略称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第7日>

○ 天草特別

天草（あまくさ）は、天草諸島にある市。また、同諸島の略称。天草諸島は、熊本県宇土半島の南西にある島々。上島、下島を主島とする120余の島からなり、地理上は鹿児島県の長島なども含まれる。温暖な気候で、一年を通してイルカウォッチングが楽しめる。

○ 筑後川特別

筑後川（ちくごがわ）は、熊本・大分・佐賀・福岡の4県を流れる1級河川。全長は143kmで九州一の長さを誇る。九重連山に源を発する玖珠川と阿蘇山に源を発する大山川が、日田盆地で合流して三隈川となり、福岡県に入って筑後川となる。流域沿いには温泉や景勝地が多数存在し、九酔溪や日田温泉が有名。

○ テレQ杯

テレQは、北九州市と福岡市に本社を置くTVQ九州放送の愛称。1991年開局で、TXN（テレビ東京）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○ 西日本新聞杯

西日本新聞社は、福岡市に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ ウインズ宮崎リニューアル記念宮崎ステークス

本競走は、ウインズ宮崎リニューアルオープンを記念して実施される。

宮崎（みやざき）は、九州南東部の県。マンゴーや日向夏など、南国の温暖な気候を利用した農産物が有名。また、同県南東部の市。同市は、JRA の競走馬育成施設である宮崎育成牧場の所在地であり、育成された競走馬は主に JRA ブリーズアップセールで売却され、JRA 育成馬としてデビューする。

○ 小倉2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、1981年に創設された重賞競走。2000年までは『小倉3歳ステークス』として実施されていたが、2001年の馬齢表記の国際基準化に伴い、現在の名称に改められた。創設当初から1,200mで実施され、夏の小倉開催のフィナーレを飾る競走として定着している。